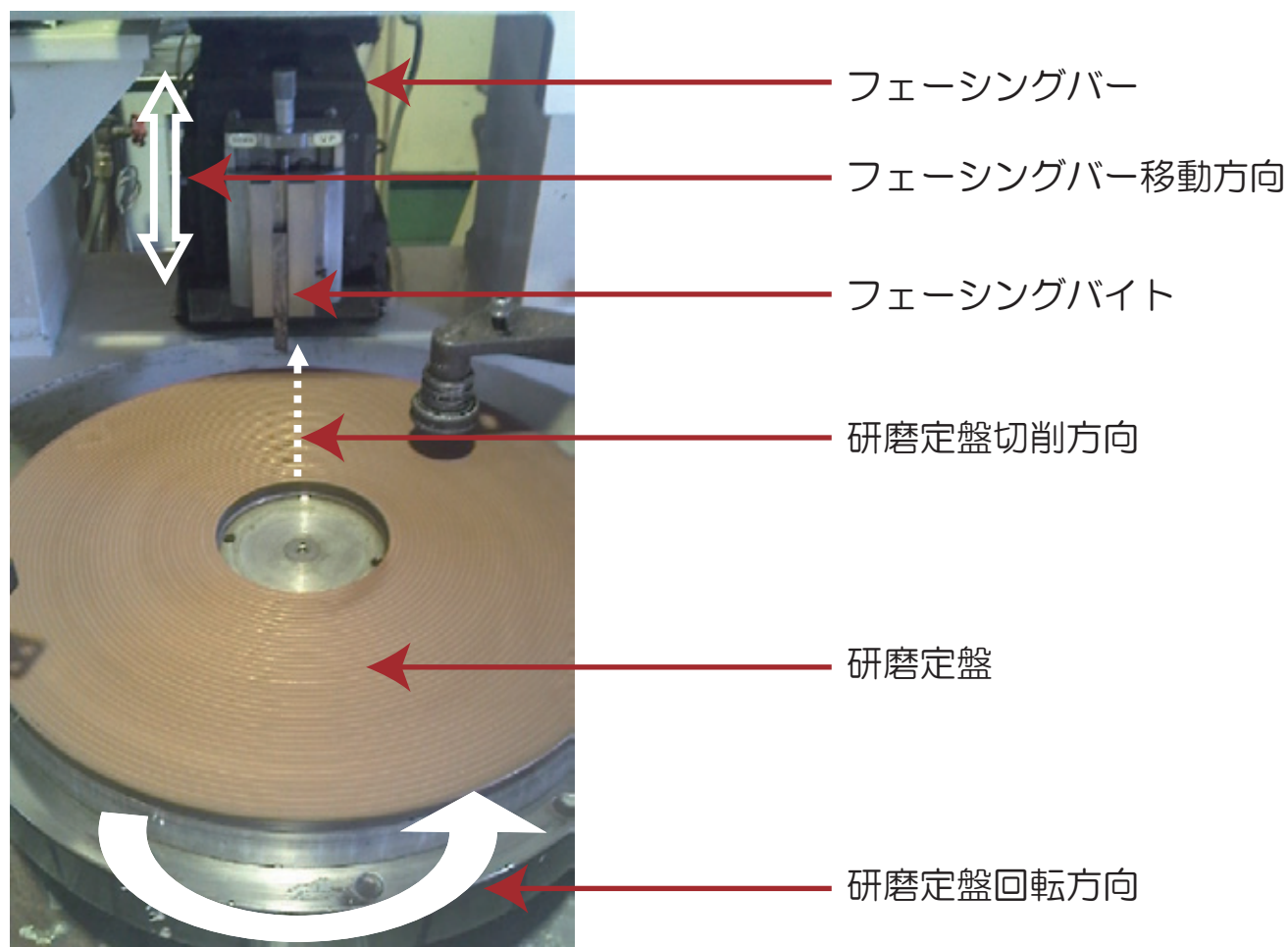


FLTEC facing

フェーシングとは？

フェーシングとは研磨定盤の平面度を保つために、研磨定盤上を切削する加工です。研磨定盤は研磨加工していく上で、少しずつ平面度が崩れていきます。フェーシング機構は当社据置型の研磨装置にオプションで装備することが可能です。

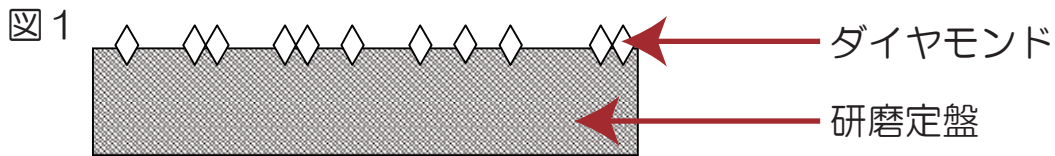


研磨定盤を回転させ、フェーシングバーが内側から外側に移動し、フェーシングバイトで研磨定盤上を切削します。

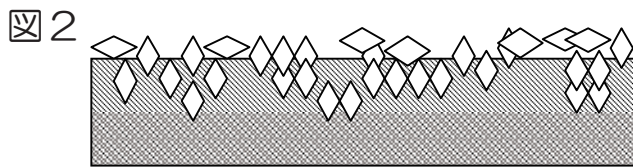
当社装置では、研磨定盤とフェーシングバーの平行度がでているので、研磨定盤上の平面度を追及することが可能です。

FLTEC facing

フェーシングを行うことによって研磨定盤の目詰まりを防ぐことが可能です。



ダイヤモンド等の固定砥粒を使用すると、図1のように研磨定盤上に固定され、対象ワークを研磨することができます。



フェーシングを行わずに加工を続けると、図2のようにダイヤモンドが目詰まりし、ダイヤモンドが研磨定盤上にうまく固定されず、加工レートが落ちてしまいます。

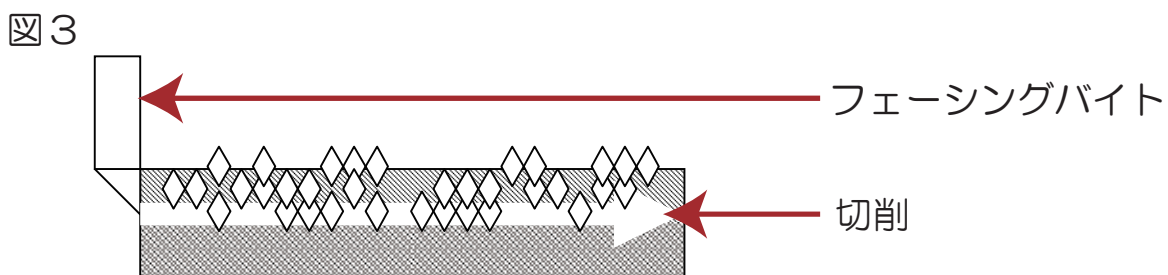


図3のようにフェーシングを行い、平面度の崩れた定盤の他、加工レートを落としてしまうダイヤモンドも同時に切削し、修正します。



フェーシング後は研磨定盤上の平面度がでて、なおかつダイヤモンドが良く固定されるようになり、加工レートが上がります。